初版作成日 : 2016年08月22日
改訂日 : 2019年03月26日

安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 :
製品名称 : 水素化リチウムアルミニウム
製品番号 (SDS NO) : 39255jis_J-2
供給者情報詳細
供給者 : 純正化学株式会社
住所 : 埼玉県越谷市大間野町1-6
担当部署 : 品質保証部
電話番号 : 048-986-6161
FAX : 048-989-2787
e-mail address : shiyaku-t@junsei.co.jp

2. 危険有害性の要約

製品のGHS分類、ラベル要素
GHS分類
物理化学的危険性
水反応可燃性化学品:区分 1
健康に対する有害性
皮膚腐食性及び刺激性:区分 1A
眼に対する重篤な損傷性又は眼刺激性:区分 1
(注) 記載なきGHS分類区分:該当せず/分類対象外/区分外/分類できない
GHSラベル要素



注意喚起語:危険
危険有害性情報
水に触れると自然発火するおそれのある可燃性又は引火性ガスを発生
重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷
重篤な眼の損傷
注意書き
安全対策
水と接触させないこと。
湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。
粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入しないこと。
取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
応急措置
水はリスクを増大させる。火災に際しては指定された消火剤を使用する。
直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合:空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
皮膚(又は髪)に付着した場合:直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと/湿った包帯で覆うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。
眼に入った場合:水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は

外すこと。その後も洗浄を続けること。
飲み込んだ場合：口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
貯蔵
施錠して保管すること。
乾燥した場所で密閉容器に保管すること。
廃棄
内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
特定の物理的及び化学的危険性
水と接触した場合に、発火または可燃性ガスが発生する恐れがある。

3. 組成及び成分情報

混合物/単一化学物質の選択 :
化学物質
慣用名、別名 : テトラヒドリドアルミン酸リチウム
成分名:水素化リチウムアルミニウム
含有量 (%):94 <
化学式:AlH4Li
化審法番号:1-16
CAS No.:16853-85-3
MW:37.95
ECNO:240-877-9
注記：これらの値は、製品規格値ではありません。

4. 応急措置

応急措置の記述
一般的な措置
直ちに医師に連絡すること。
吸入した場合
空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合
直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を流水/シャワーで洗うこと。
固着していない粒子を皮膚から払いのけ、冷たい水に浸すこと／湿った包帯で覆うこと。
皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断/手当てを受けること。
眼に入った場合
水で数分間注意深く洗うこと。コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
眼の刺激が続く場合：医師の診断/手当てを受けること。
飲み込んだ場合
口をすすぐこと。無理に吐かせないこと。
気分が悪いときは医師に連絡すること。

5. 火災時の措置

消火剤
適切な消火剤
火災の場合は粉末、乾燥砂を使用すること。
不適切な消火剤
水、泡
特有の危険有害性
加熱すると容器が爆発するおそれがある。
火災によって刺激性、有毒及び/又は腐食性のガスを発生するおそれがある。

消火水や希釈水が汚染を引き起こすおそれがある。
消火後再び発火するおそれがある。

消火を行う者への勧告

特有の消火方法

関係者以外は安全な場所に退去させる。

消火を行う者の保護

防火服/防炎服/耐火服を着用すること。
保護手袋/保護衣/保護眼鏡/保護面を着用すること。
消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置

関係者以外は近づけない。
漏洩物に触れたときは、直ちに流水で皮膚あるいは眼を最低20分間洗浄する。
回収が終わるまで充分な換気を行う。
適切な保護具を着用する。
密閉された場所に入る前に換気する。
漏洩物に触れたり、その中を歩いたりしない。

環境に対する注意事項

上水源、河川、湖沼、海洋、地下水に漏洩しないようにする。
漏洩すると火災・爆発の危険がある。

封じ込め及び浄化の方法及び機材

こぼれた粉末はプラスチックシートかターポリンで覆い飛散を防止し防湿する。
乾燥した土、乾燥した砂あるいは不燃性材料の上からとプラスチックシートで覆い、飛散、雨濡れを防止する。
専門家の指示がないときは漏洩物を取り除いたり、廃棄してはいけない。
漏洩物をせき止め、後で廃棄する。指示がなければ水をかけてはいけない。

二次災害の防止策

漏出物を回収すること。
危険でなければ漏れを止める。
全ての発火源を取り除く(近傍での喫煙、火花や火炎の禁止)
漏洩物やその容器内に水をかけてはいけない。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策

(取扱者のばく露防止)

粉じん/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸入してはならない。

(火災・爆発の防止)

熱/火花/裸火/高温のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
水と接触させないこと。

局所排気、全体換気

排気/換気設備を設ける。

注意事項

皮膚に触れないようにする。
眼に入らないようにする。
粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気を吸入しないこと。

安全取扱注意事項

保護手袋、保護衣又は保護面を着用すること。
保護手袋及び保護面を着用すること。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
指定された個人用保護具を使用すること。

湿気を遮断し、不活性ガス下で取り扱うこと。
取扱中は飲食、喫煙してはならない。

配合禁忌等、安全な保管条件

適切な保管条件

換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。
涼しいところに置き、日光から遮断すること。
施錠して保管すること。
乾燥した場所で密閉容器に保管すること。

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標

管理濃度データなし

許容濃度

日本産衛学会の許容濃度データなし

ばく露防止

設備対策

適切な換気のある場所で取扱う。
洗眼設備を設ける。
手洗い/洗顔設備を設ける。

保護具

呼吸用保護具

呼吸用保護具を着用すること。

手の保護具

保護手袋を着用する。
手袋/個人保護具メーカーに適切な材料の選択について問合せる。

眼の保護具

化学品用ゴーグルを着用する。
保護眼鏡/顔面保護具を着用する。

衛生対策

取扱い後は汚染個所をよく洗うこと。
汚染された衣類を再使用する場合には洗濯をすること。

9. 物理的及び化学的性質

基本的な物理的及び化学的性質に関する情報

物理的状態

形状 : 結晶又は結晶性粉末
色 : 白色～灰色
臭い : 無臭
pHデータなし

物理的状態が変化する特定の温度/温度範囲

初留点/沸点データなし
融点/凝固点 : >125℃
分解温度 : >125℃
引火点データなし
自然発火温度データなし
爆発特性データなし
蒸気圧データなし
蒸気密度データなし
比重/密度 : 0.917g/cm3(20℃)

溶解度

水に対する溶解度 : 反応する
溶媒に対する溶解度 : エーテル及びテトラヒドロフランに溶ける

n-オクタノール／水分配係数データなし

10. 安定性及び反応性

反応性

重合暴走反応は生じない。

水と反応する。

化学的安定性

通常の保管条件/取扱い条件において安定である。

危険有害反応可能性

水、アルコール類と反応し、水素を発生する。

避けるべき条件

混蝕危険物質との接触。

裸火、加熱、火花、光、湿気、空気

混触危険物質

酸、酸化性物質、アルコール類、有機化合物、水

危険有害な分解生成物

水素、金属酸化物

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性

製品の急性毒性(経口)

mouse LD50=85mg/kg(Supplier's data/information; ChemIDplus)

局所効果

重篤な皮膚の薬傷及び眼の損傷(HSDB)

皮膚腐食性・刺激性

本製品の欧州CLP調和分類が区分1Aである。安全面を考慮し、区分1Aとした。

感作性データなし

生殖細胞変異原性データなし

発がん性データなし

生殖毒性データなし

特定標的臓器毒性(単回/反復 ばく露)データなし

吸引性呼吸器有害性データなし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生毒性データなし

残留性・分解性データなし

生体蓄積性データなし

13. 廃棄上の注意

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。

中身及び容器の廃棄は、都道府県知事の許可を受けた産業廃棄物の処理業者に依頼する。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号 : 1410

正式輸送名 :水素化リチウムアルミニウム

分類または区分 : 4.3
容器等級 : I
指針番号: 138

IMDG Code (国際海上危険物規程)
国連番号 : 1410
正式輸送名 :水素化リチウムアルミニウム
分類または区分 : 4.3
容器等級 : I

IATA 航空危険物規則書
国連番号 : 1410
正式輸送名 : 水素化リチウムアルミニウム
分類または区分 : 4.3
危険性ラベル : Dang. when wet
容器等級 : I

環境有害性
MARPOL条約附属書III - 個品有害物質による汚染防止
海洋汚染物質 (該当/非該当): 非該当

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令
毒物及び劇物取締法に該当しない。
労働安全衛生法に該当しない。
化学物質管理促進(PRTR)法に該当しない。
消防法
第3類 自然発火性物質及び禁水性物質 危険等級 II(指定数量 50kg)
船舶安全法
可燃性物質類 禁水性物質 分類4 区分4.3
航空法
可燃性物質類 水反応可燃性物質 分類4 区分4.3
環境有害性
適用法規情報
輸出貿易管理令
別表第1の16の項

記載した法規情報は意図的成分に関するものです。非意図的成分、サプライヤから開示を受けていない不純物に関する情報は含まれていません。

16. その他の情報

参考文献
Globally Harmonized System of classification and labelling of chemicals, (5th ed., 2013), UN
Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 20th edit., 2017 UN
IMDG Code, 2018 Edition (Incorporating Amendment 39-18)
IATA 航空危険物規則書 第60版 (2019年)
Classification, labelling and packaging of substances and mixtures (table3-1 ECNO6182012)
2016 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
2018 TLVs and BEIs. (ACGIH)
http://monographs.iarc.fr/ENG/Classification/index.php
JIS Z 7253 (2012年)
JIS Z 7252 (2014年)
2018 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
Supplier's data/information
NITE 化学物質総合情報提供システム(NITE-CHRIP) http://www.safe.nite.go.jp/japan/db.html

事業者向けGHS分類ガイダンス（平成２５年度改訂版,経済産業省）

責任の限定について

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また、注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。

ここに記載されたデータは最新の知識及び経験に基づいたものです。安全性データシートの目的は当該製品を安全に取り扱って頂くための情報を提供するものです。ここに記載されたデータは製品の性能について何ら保証するものではありません。

ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ（NITE 平成29年度)です。